



平成24年3月期 第1四半期

決算説明資料

平成23年8月5日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

目次

【本資料におけるご留意点】

7月26日に株式会社テーケアール株式の取得による子会社化(経営統合)に関する株式譲渡契約締結について開示を行っており、平成24年3月期において8億円前後の「負ののれん」(特別利益)が発生する見込みである旨もお知らせしておりますが、本件に関わる業績への影響に関しましては、現在精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

つきましては、本資料には、株式会社テーケアールを当社グループに迎えた後のグループ経営戦略については記載しておりますが、業績予想に関しましては、株式会社テーケアールの株式取得による特別利益、株式取得後の業績加算などを勘案しない情報となっておりますので、ご承知ください。

◇平成24年3月期 第1四半期 業績ハイライト	P 3
◇平成24年3月期 通期連結業績予想	P14
◇TKRとの経営統合と中期戦略(グループ戦略)	P22

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



平成24年3月期 第1四半期

業績ハイライト



平成24年3月期 第1四半期 業績ハイライト (P/L)

売上高 5,347百万円と前期比75.6%の増収。利益面においても、メーカーの東日本大震災からの想定以上の回復により当初計画を大幅に上回る利益を達成

(単位:百万円)

項目/決算別	第1四半期				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	5,450	5,347	▲103	98.1%	3,045	+75.6%
売上総利益	495	612	117	123.6%	552	+10.9%
(売上総利益率)	9.1%	11.4%	2.4%	-	18.1%	-
販売管理費	570	567	▲3	99.5%	453	+25.2%
(販売管理费率)	10.5%	10.6%	0.1%	-	14.9%	-
営業利益	▲75	45	120	160.0%	99	▲54.5%
(営業利益率)	▲1.4%	0.8%	2.2%	-	3.3%	-
経常利益	▲75	22	97	129.3%	99	▲77.8%
(経常利益率)	▲1.4%	0.4%	1.8%	-	3.3%	-
当期純利益	▲110	▲1	109	199.1%	57	▲101.8%
(当期純利益率)	▲2.0%	0.0%	2.0%	-	1.9%	-
現場社員数	3,275	3,294	19	100.6%	3,221	+2.3%

*志摩グループの業績は前年第2四半期からnms連結対象となったため、前年同期の数値はnms単体の数値となります。

平成24年3月期 第1四半期 業績について (P/L)

・事業別の詳細は、後述スライドのとおり。

売上高	5,347百万円	(前年同期比 75.6%増↑)	
●IS事業	2,009百万円	(前年同期比 4.0%減↓)	[計画比 18.2%増↑]
●MS事業	686百万円	(前年同期比 13.5%減↓)	[計画比 2.0%減↓]
●GE事業	155百万円	(前年同期比 3.1%減↓)	[計画比 3.3%増↑]
●EMS事業	2,497百万円	(昨年第2四半期より開始)	[計画比 13.9%減↓]

⇒前年同期に比して売上高は2,302百万円の大幅増収

売上総利益	612百万円	(前年同期比 10.9%増↑)	[計画比 23.6%増↑]
-------	--------	-----------------	---------------

⇒前年同期に比して売上総利益は60百万円の増益

販管費	567百万円	(前年同期比 25.2%増↑)	
-----	--------	-----------------	--

営業利益	45百万円	(前年同期比 54.5%減↓)	[計画比 60.0%増↑]
------	-------	-----------------	---------------

経常利益	22百万円	(前年同期比 77.8%減↓)	[計画比 29.3%増↑]
------	-------	-----------------	---------------

当期純利益	△1百万円	(前年同期比 101.8%減↓)	[計画比 99.1%増↑]
-------	-------	------------------	---------------

東日本大震災の影響と対応

直接的な影響
(東北地区)

間接的影響
(全国・世界)

現在の当社の状況

	3/11~4/末(5/末)	5/末~夏 (5月13日時点の予想)
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋、設備の損壊 ・被災者の就業不能 ・サプライチェーンの機能不全 (社会インフラ含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・原発による国民不安・国際問題 ・消費低迷 ・電力供給問題
結果	<p>部材調達難</p> <p>↓</p> <p>稼働停止</p> <p>↓</p> <p>復旧作業</p>	<p>一部は西日本への生産調整開始</p> <p>一部は海外への生産拠点移動検討開始</p> <p>安定生産計画立案難</p>
nms	<p>売上減少 (IS・MS)</p> <p>休業補償発生</p> <p>建屋と固定資産除却</p> <p>↓</p> <p>損益悪化</p>	<p>国内生産低下 (IS)</p> <p>ISの海外事業はプラスへ転換</p>

当初の予定より取引先の生産回復スピードが速い

■現時点、当社の取引先のほとんどが生産フル稼働状態

・社員の休業補償コスト負担は6月末迄

■夏の節電対策については鋭意調査中
(一般報道内容ではあまり大きな影響はないと予想される)

当社の対策

neoEMSの事業戦略
コンセプトのもと事業を推進

- **海外事業の本格稼働**
- **国内事業の拡充**

東日本大震災の影響と対応

震災影響度は対計画 133百万円の利益改善に至る

* 震災影響度・・・売上総利益から特別損失(NET)を差し引いた値を震災影響度とする

売上高: IS事業とMS事業の売上高合計は対計画+295百万となる

売上総利益: IS事業とMS事業の売上総利益合計は対計画+124百万となる

特別損益: 早期生産フル稼働により休業補償負担コストが想定より低減される。IS事業とMS事業の特別損失(NET)は対計画△9百万円となる。休業補償は6月末で完了

【影響が生じると予想した項目/計画と実績の差異】													
		4月			5月			6月			第1Q		
		計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画	実績	差異
売上高	・IS	506	577	71	531	641	110	663	791	128	1,700	2,009	309
	・MS	225	224	-1	228	233	5	247	229	-18	700	686	-14
	売上高計	731	801	70	759	874	115	910	1,020	110	2,400	2,695	295
総売上率利益	・IS	13.8%	15.8%	2.0	14.7%	17.5%	2.8	16.1%	20.5%	4.4	15.0%	18.2%	3.2
	・MS	14.1%	19.6%	5.5	16.3%	19.5%	3.2	24.7%	24.0%	-0.7	18.6%	20.9%	2.3
総売上利益	・IS	70	91	21	78	112	34	107	162	55	255	365	110
	・MS	32	44	12	37	45	8	61	55	-6	130	144	14
	①売上総利益	102	135	33	115	157	42	168	217	49	385	509	124
特別損益	特別利益	7	5	-2	3	2	-1	101	76	-25	111	83	-28
	特別損失	73	56	-17	47	28	-19	12	11	-1	132	95	-37
	②特別損失(NET)	66	51	-15	44	26	-18	-89	-65	24	21	12	-9
①-②震災の影響度		36	84	48	71	131	60	257	282	25	364	497	133

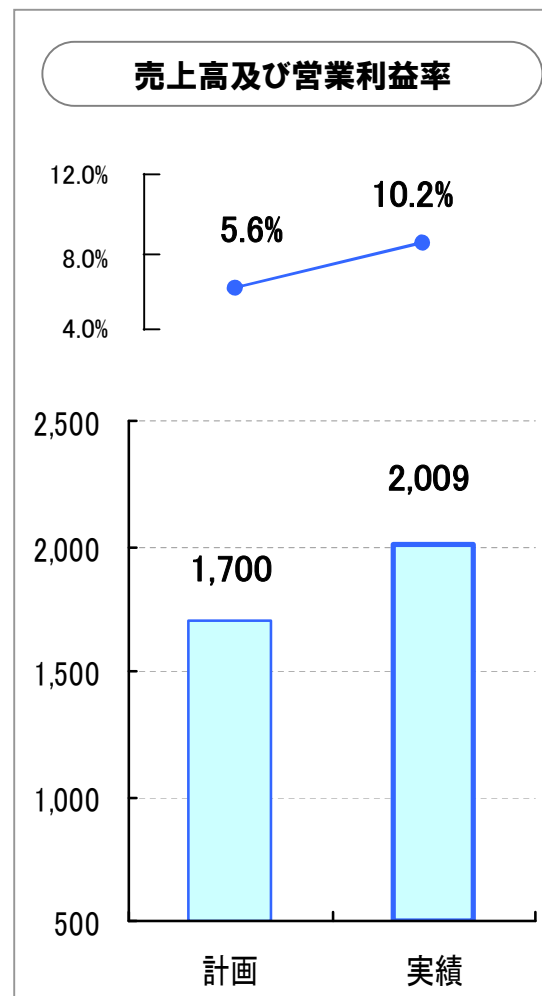
平成24年3月期 第1四半期 事業別業績ハイライト

IS事業 インラインソリューション事業

売上高、営業利益、現場社員数の
主要項目の全てにおいて大幅計画達成

震災後の急激な生産回復及びメーカーの増産傾向を
取り込む

決算期	第1四半期				前年同期	前年 同期比
	項目	計画	実績	差異		
売上高	1,700	2,009	309	118.2%	2,092	▲4.0%
(構成比)	31.2%	37.6%	6.4%	-	68.7%	-
営業利益	95	205	110	215.8%	183	+12.0%
(営業利益率)	5.6%	10.2%	4.6%	-	8.7%	-
現場社員数(人)	2,400	2,457	57	102.4%	2,365	+3.9%



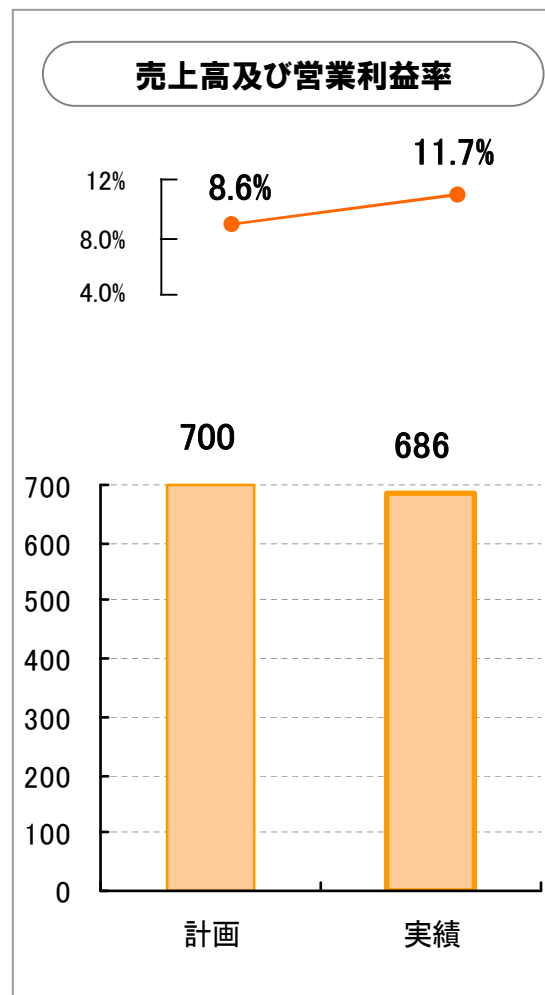
平成24年3月期 第1四半期 事業別業績ハイライト

MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

**売上高、現場社員数はわずかながら
計画未達成も営業利益においては大幅計画達成**

震災の影響は少なからず受けるも既存の修理業務において
メーカー各社から引き続き信頼をいただき、一層の事業拡
充を図った結果、高い営業利益率を確保

決算期	第1四半期				前年同期	前年 同期比
	項目	計画	実績	差異		
売上高	700	686	▲ 14	98.0%	793	▲13.5%
(構成比)	12.8%	12.8%	-	-	26.0%	-
営業利益	60	80	20	133.3%	123	▲35.0%
(営業利益率)	8.6%	11.7%	3.1%	-	15.5%	-
現場社員数(人)	770	726	▲ 44	94.3%	745	▲2.6%



平成24年3月期 第1四半期 事業別業績ハイライト

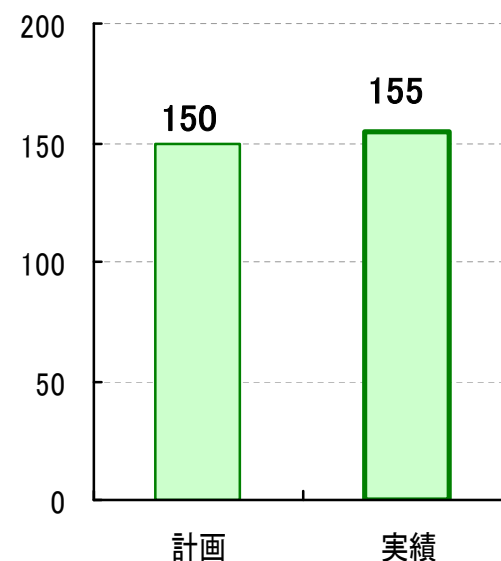
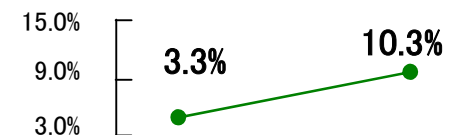
GE事業 (GS事業+ES事業)

売上高、営業利益、現場社員数の 主要項目の全てにおいて計画達成

技術者派遣が低迷する中、新規受注に向けての積極的な営業活動を進めた結果、一定規模の受注を確保し、計画達成

決算期	第1四半期				前年同期	前年同期比
	項目	計画	実績	差異		
売上高	150	155	5	103.3%	160	▲3.1%
(構成比)	2.8%	2.9%	0.1%	-	5.3%	-
営業利益	5	16	11	320.0%	9	+77.8%
(営業利益率)	3.3%	10.3%	7.0%	-	5.6%	-
現場社員数(人)	105	111	6	105.7%	111	+0.0%

売上高及び営業利益率



平成24年3月期 第1四半期 事業別業績ハイライト

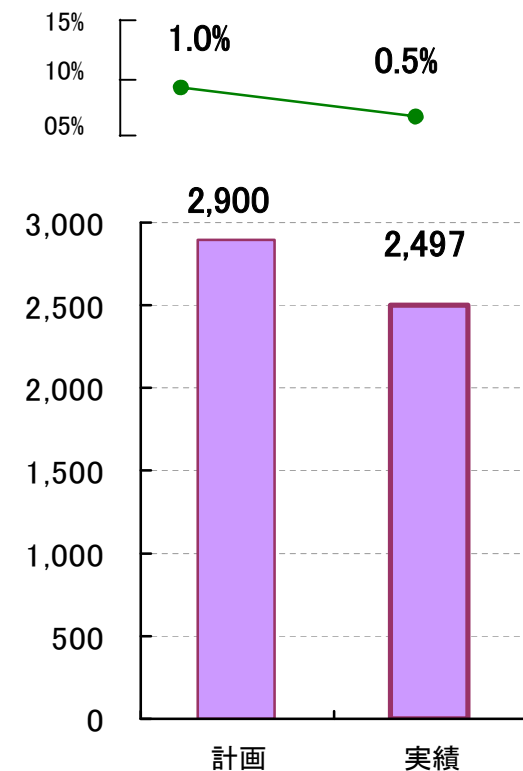
EMS事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高、営業利益の 主要項目において計画未達成

大震災に伴う世界的な部材調達の影響を直接受け、コストミニマムオペレーションにて業績悪化を最小限に食い止めるも計画未達成

決算期	第1四半期				前年同期	前年同期比
	項目	計画	実績	差異		
売上高	2,900	2,497	▲ 403	86.1%	-	-
(構成比)	53.2%	46.7%	▲6.5%	-	-	-
営業利益	30	12	▲ 18	40.0%	-	-
(営業利益率)	1.0%	0.5%	▲0.6%	-	-	-

売上高及び営業利益率



平成24年3月期 第1四半期 業績ハイライト(B/S)

前期末比 総資産+160百万円、純資産△49百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	平成23年3月期	平成24年3月期 第1四半期		
	(11/3末)	(11/6末)	増減	前期末比
資産合計	7,362	7,522	160	102.2%
流動資産	6,508	6,672	164	102.5%
固定資産	854	850	▲ 4	99.5%
負債	5,193	5,402	209	104.0%
流動負債	4,233	4,513	280	106.6%
固定負債	960	890	▲ 70	92.7%
純資産	2,169	2,120	▲ 49	97.7%
資本金	501	501	0	100.0%
資本剰余金	216	216	0	100.0%
利益剰余金	1,512	1,471	▲ 41	97.3%
その他	▲ 60	▲ 68	▲ 8	113.3%
負債・純資産合計	7,362	7,522	160	102.2%

流動資産 前期末比+164百万円
 現預金前期末比+217百万円が主要因

固定資産 前期末比△4百万円

流動負債 前期末比+280百万円
 短期借入金+608百万円
 支払手形及び買掛金△267百万円
 未払法人税 △154百万円
 未払金 +73百万円

資本金 前期末比±0百万円
 変動なし

資本剰余金 前期末比+0百万円
 変動なし

利益剰余金 前期末比△41百万円
 四半期純利益 △1百万円、前期配当
 金△40百万円

その他 前期末比△8百万円
 為替換算調整勘定△8百万円

平成24年3月期 第1四半期 業績ハイライト(C/F)(参考)

営業キャッシュ・フローが△361百万円

<C/F>

(単位：百万円)

項目/決算期	平成23年3月期 第1四半期累計期間 (前期)	平成24年3月期 第1四半期累計期間 (当期)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	181	▲180	▲361
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲7	▲12	▲5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,242	509	▲733
現金及び現金同等物の増減額	1,416	322	▲1,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,319	2,034	▲285

<主な経営指標>

項目/決算期	平成23年3月期 第1四半期累計期間 (前期)	平成24年3月期 第1四半期累計期間 (当期)	増減
1株あたり純資産(円)	67,032.07	21,043.28	▲45,988.79
自己資本比率(%)	29.8	27.8	▲2.0
1株あたり純利益(円)	2,877.13	▲7.46	▲2,884.59



平成24年3月期 通期業績予想



平成24年3月期 通期業績予想（連結）

売上高：前期比+18.5%、利益：営業利益で前期比+7.8%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				平成24年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	8,983	11,500	2,517	+28.0%	11,692	13,000	1,308	+11.2%	20,675	24,500	3,825	+18.5%
売上総利益	1,278	1,319	41	+3.2%	1,455	1,612	157	+10.8%	2,733	2,931	198	+7.2%
(売上総利益率)	14.2%	11.5%	▲2.8%	-	12.4%	12.4%	0.0%	-	13.2%	12.0%	▲1.3%	-
販売管理費	1,002	1,169	167	+16.7%	1,128	1,112	▲16	▲1.4%	2,130	2,281	151	+7.1%
(販売管理費率)	11.2%	10.2%	▲1.0%	-	9.6%	8.6%	▲1.1%	-	10.3%	9.3%	▲1.0%	-
営業利益	276	150	▲126	▲45.7%	327	500	173	+52.9%	603	650	47	+7.8%
(営業利益率)	3.1%	1.3%	▲1.8%	-	2.8%	3.8%	1.0%	-	2.9%	2.7%	▲0.3%	-
経常利益	265	120	▲145	▲54.7%	318	510	192	+60.4%	583	630	47	+8.1%
(経常利益率)	3.0%	1.0%	▲1.9%	-	2.7%	3.9%	1.2%	-	2.8%	2.6%	▲0.2%	-
当期純利益	765	60	▲705	▲92.2%	144	310	166	+115.3%	909	370	▲539	▲59.3%
(当期純利益率)	8.5%	0.5%	▲8.0%	-	1.2%	2.4%	1.2%	-	4.4%	1.5%	▲2.9%	-
現場社員数	3,425	3,465	40	+1.2%	3,312	3,980	668	+20.2%	3,312	3,980	668	+20.2%

* 前年上期は、連結決算を行っていないため、参考情報として単体数値を記載しております。

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高	24,500百万円	（前年同期比 18.5%増↑）
●IS事業	8,950百万円	（前年同期比 5.1%増↑）
●MS事業	3,380百万円	（前年同期比 6.5%増↑）
●GE事業	670百万円	（前年同期比 2.8%減↓）
●EMS事業	11,500百万円	（前年同期比 38.6%増↑）

売上総利益	2,931百万円	（前年同期比 7.2%増↑）
-------	----------	----------------

販管費	2,281百万円	（前年同期比7.1%増↑）
-----	----------	---------------

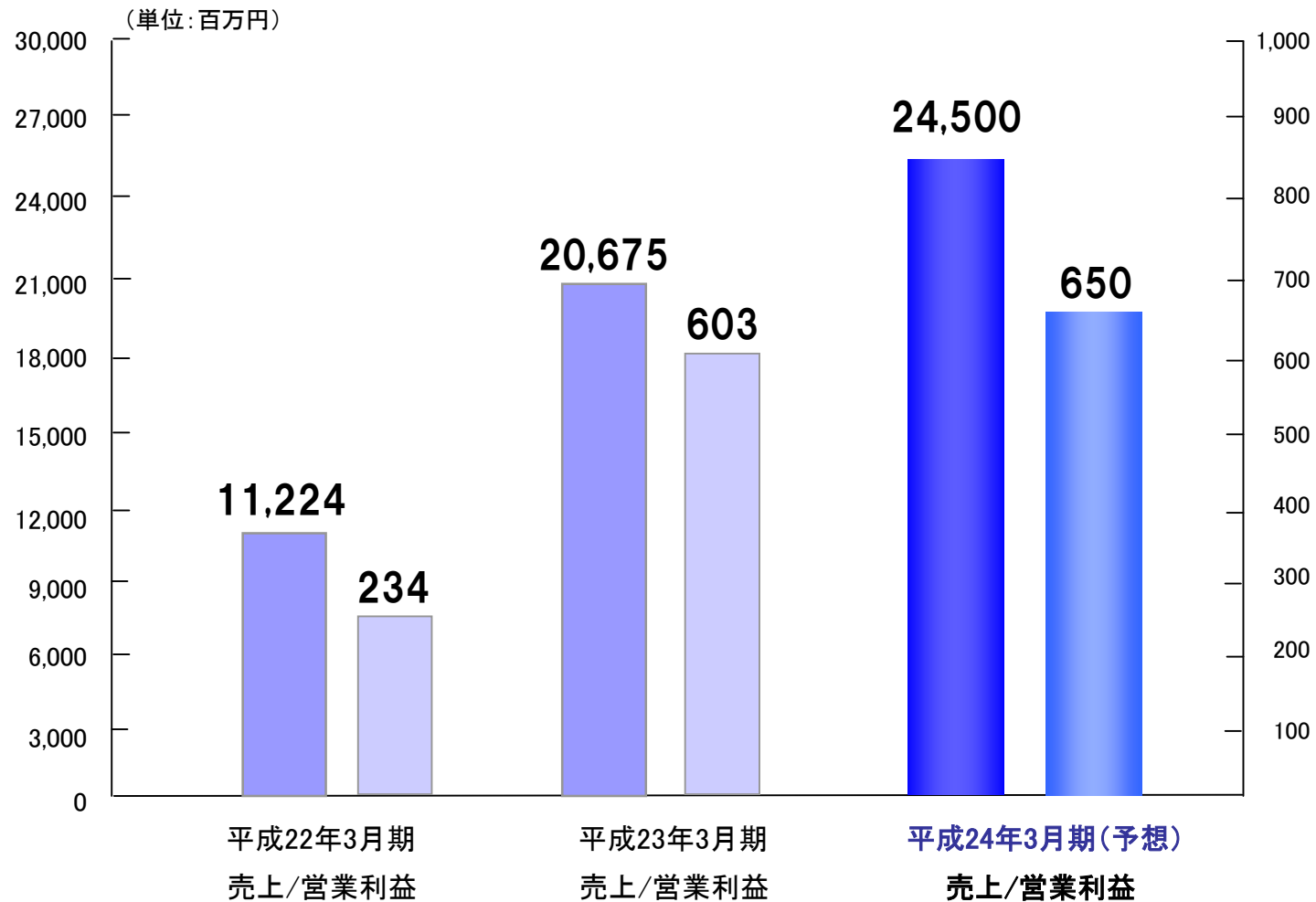
営業利益	650百万円	（前年同期比 7.8%増↑）
------	--------	----------------

経常利益	630百万円	（前年同期比 8.1%増↑）
------	--------	----------------

純利益	370百万円	（前年同期比 59.3%減↓）
-----	--------	-----------------

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高:前期比+18.5% 営業利益+7.8%



平成24年3月期 事業別業績見通し

IS事業 インラインソリューション事業

売上高5.1%増 営業利益5.9%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,321	4,460	139	+3.2%	4,195	4,490	295	+7.0%	8,516	8,950	434	+5.1%
(構成比)	48.1%	38.8%	▲9.3%	-	35.9%	34.5%	▲1.3%	-	41.2%	36.5%	▲4.7%	-
営業利益	428	465	37	+8.6%	474	490	16	+3.4%	902	955	53	+5.9%
(営業利益率)	9.9%	10.4%	0.5%	-	11.3%	10.9%	▲0.4%	-	10.6%	10.7%	0.1%	-
現場社員数(人)	2,531	2,600	69	+2.7%	2,405	3,000	595	+24.7%	2,405	3,000	595	+24.7%

MS事業 マニファクチャリングソリューション事業

売上高6.5%増 営業利益6.2%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,602	1,500	▲102	▲6.4%	1,571	1,880	309	+19.7%	3,173	3,380	207	+6.5%
(構成比)	17.8%	13.0%	▲4.8%	-	13.4%	14.5%	1.0%	-	15.3%	13.8%	▲1.6%	-
営業利益	244	189	▲55	▲22.5%	255	341	86	+33.7%	499	530	31	+6.2%
(営業利益率)	15.2%	12.6%	▲2.6%	-	16.2%	18.1%	1.9%	-	15.7%	15.7%	0.0%	-
現場社員数(人)	775	750	▲25	▲3.2%	778	850	72	+9.3%	778	850	72	+9.3%

平成24年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバルエンジニアリング事業
(GS事業+ES事業)

売上高2.8%減 営業利益7.4%減

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	328	308	▲20	▲6.1%	361	362	1	+0.3%	689	670	▲19	▲2.8%
(構成比)	3.7%	2.7%	▲1.0%	-	3.1%	2.8%	▲0.3%	-	3.3%	2.7%	▲0.6%	-
営業利益	18	26	8	+44.4%	36	24	▲12	▲33.3%	54	50	▲4	▲7.4%
(営業利益率)	5.5%	8.4%	3.0%	-	10.0%	6.6%	▲3.3%	-	7.8%	7.5%	▲0.4%	-
現場社員数(人)	119	115	▲4	▲3.4%	129	130	1	+0.8%	129	130	1	+0.8%

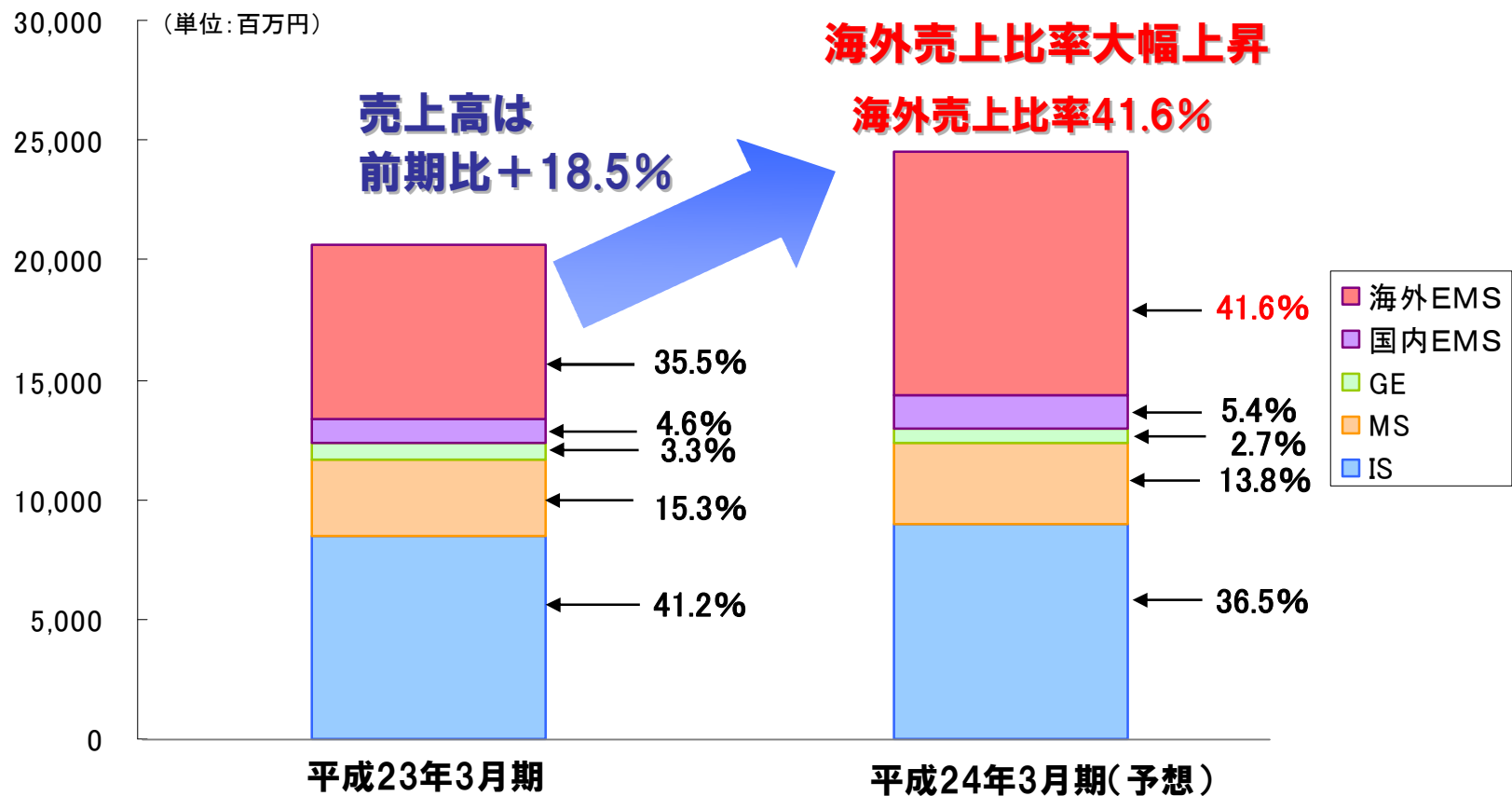
EMS事業

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高38.6%増 営業利益32.7%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	2,732	5,232	2,500	+91.5%	5,565	6,268	703	+12.6%	8,297	11,500	3,203	+38.6%
(構成比)	30.4%	45.5%	15.1%	-	47.6%	48.2%	0.6%	-	40.1%	46.9%	6.8%	-
営業利益	56	26	▲30	▲53.6%	57	124	67	+117.5%	113	150	37	+32.7%
(営業利益率)	2.0%	0.5%	▲1.6%	-	1.0%	2.0%	1.0%	-	1.4%	1.3%	▲0.1%	-

事業別売上構成



* 志摩電子日本、香港分は9ヶ月分
マレーシア(12月決算)は6ヶ月分のみ計上

株主還元

**総還元性向（配当＋自己株式取得）20％を中長期的目標
配当性向10％を目標**

単位：円/(%)	平成22年3月期	平成23年3月期		平成24年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当＋特別配当 ＋記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	8.1%
	4.3%	10.0%	20.0%	-
総還元性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	8.1%
	10.0%	10.0%	20.0%	-

* 平成23年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示

* 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載

* 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施



TKRとの経営統合と 中期戦略(グループ戦略)



本資料では、既に公表しております中期戦略(グループ)のうち、7月26日に公表いたしました株式会社テーケアールを当社グループに迎える部分を主に記載しております。

中期戦略（グループ戦略）

海外潜在市場の開拓

グローバルな請負体制を拡充し、
The UKEO(グローバルフィールドでの請負)を加速

国内市場のシェア拡大

請負化提案を強化
国内存続事業の拡大

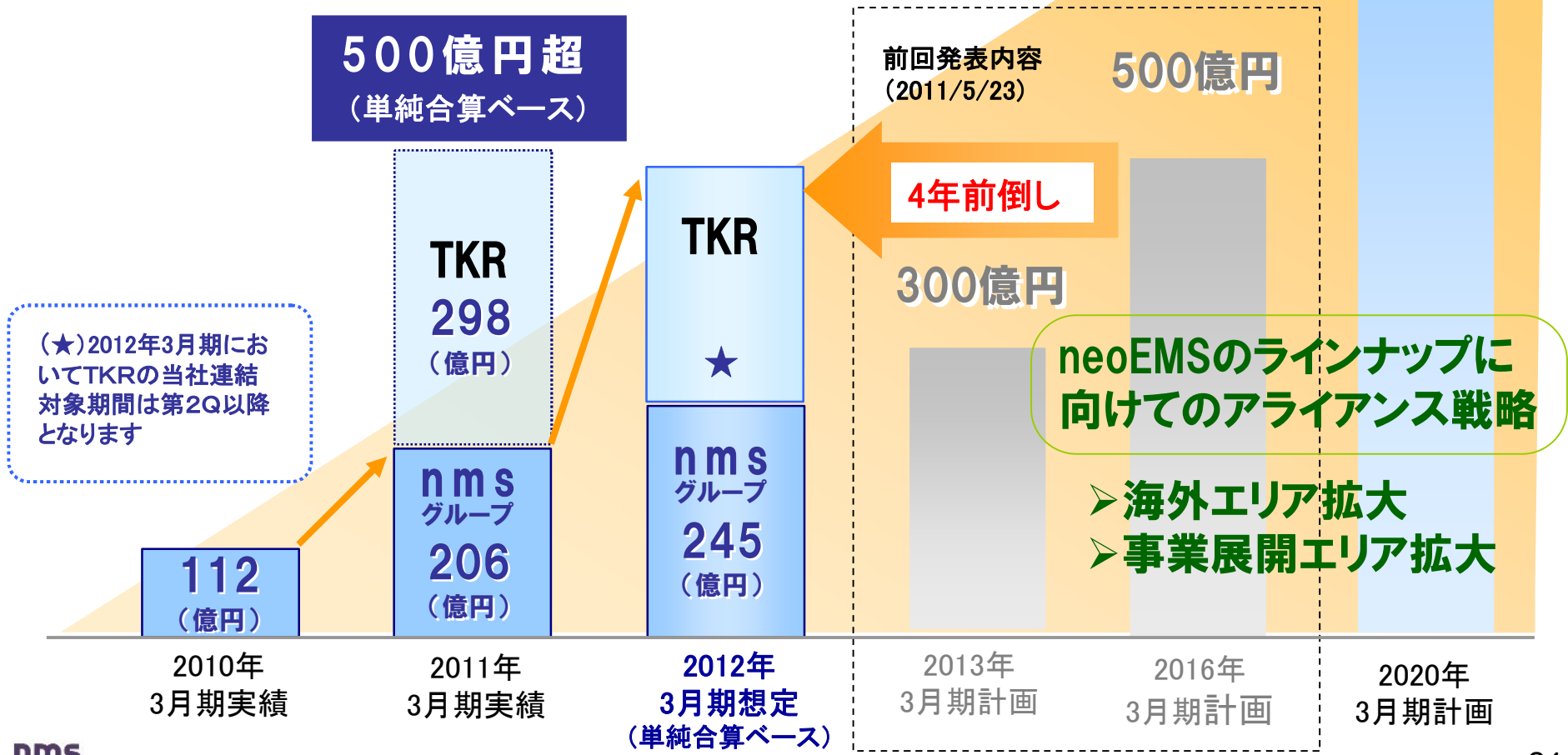


これまでにない「新しいモノづくりソリューション会社」として
新・事業戦略コンセプト neo EMS(進化型のEMS)
をグローバルに展開し、企業価値を増大

売上高1,000億円を目指した展開

TKRと経営統合することで、
 前回発表(2011/5/23)の2016年3月期の売上高目標は、
 計画を4年前倒し2012年3月期でほぼ達成の見込み

将来目標：
 連結売上高
 1,000億円



TKRとの経営統合について

製造アウトソーシング業界のリーディングカンパニーとなる事業規模の達成

●売上高505億円 ●営業利益14億円 ●経常利益13億円 ●純利益14億円

●総資産:205億円 ●海外売上高比率50%超

(2011年3月期単純合算)

nms
グループ

売上高:206億円
純資産: 21億円
(2011年3月期)

「neo EMS」を事業戦略コンセプトに国内外に事業を展開し、
他の製造アウトソーシング企業とは一線を画す「モノづくり」カンパニー

nms
NIPPON MANUFACTURING SERVICE

SHIMA
株式会社志摩電子工業

- 国内に自社工場(テック)を6拠点保有
- 圧倒的な請負力
- 中国で日系企業初となる労務派遣*の営業許認可を取得
- ベトナムで日系企業初となる構内製造請負ライセンスを取得
- 国内外に事業展開しているEMS企業
- 海外拠点 香港、マレーシア、中国シンセン工場を保有

経営統合

TKR

売上高:298億円
純資産: 53億円
(2011年3月期連結ベース)

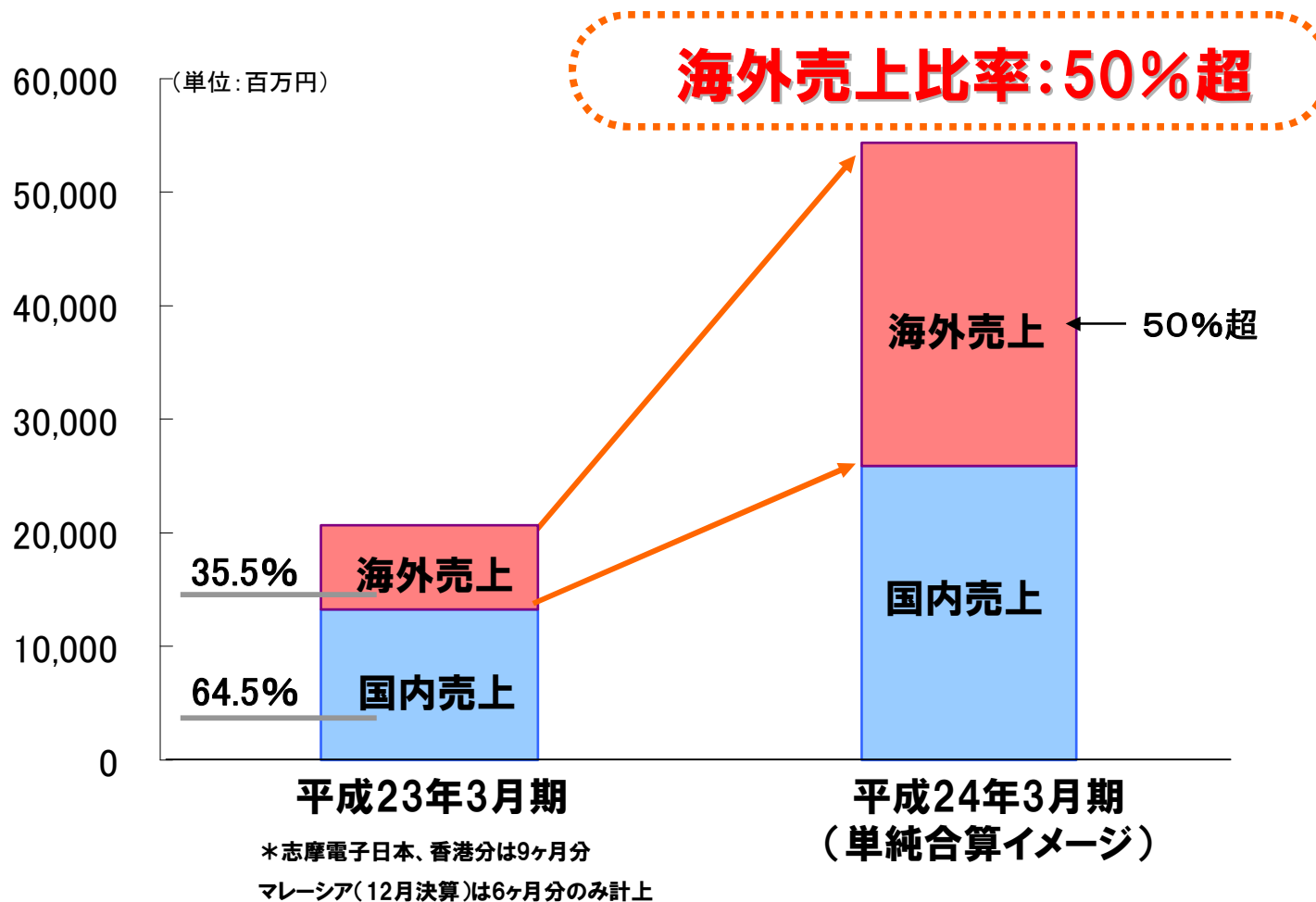
高い開発・設計技術力を持ち、
グローバルに事業を展開しているEMS企業

- 高い開発・設計技術力、基板実装やモジュール組立、
ODM/OEM受託等幅広いビジネス領域
- 日系大手メーカー顧客基盤

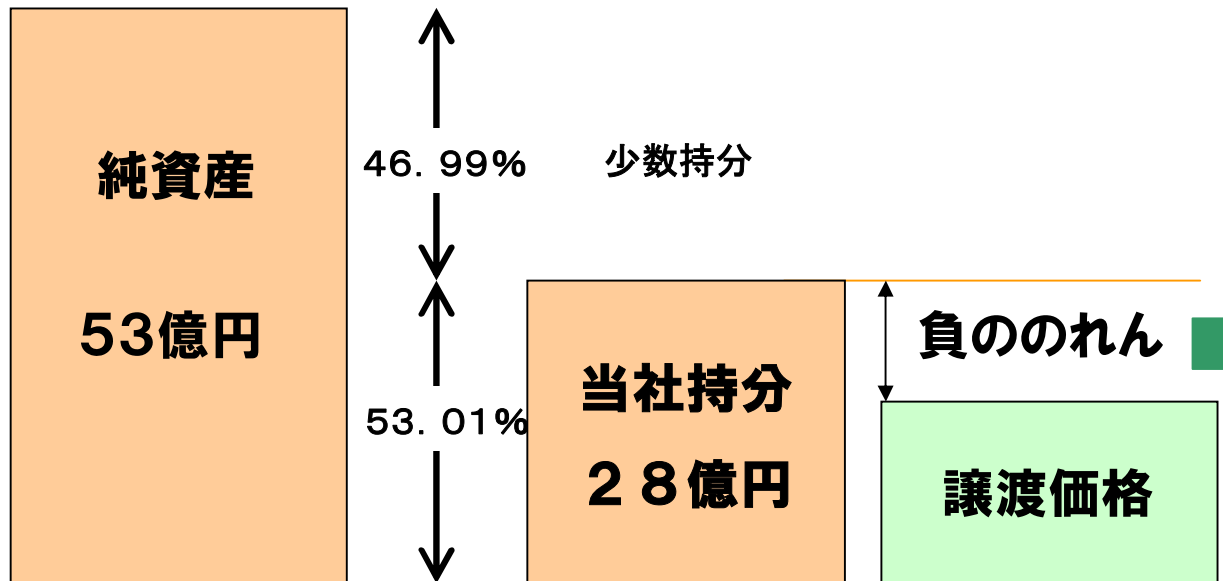
TKRとの経営統合について

量的、質的メリット

本経営統合により、当社の事業規模は約2倍に急拡大し、
海外売上比率は50%超に上昇



経済的メリット
本経営統合により、8億円前後の「負ののれん」(特別利益)が発生する見込み



株式会社テーケイアールの純資産を下回る譲渡価格のために、2012年3月期において特別利益が発生する見込み

事業戦略コンセプト 「neo EMS」の強化

設計開発技術力、調達、部品製造・加工等メーカーと同等の製造能力を保有
「neo EMS」のサービスラインナップを強化

2010年7月子会社化

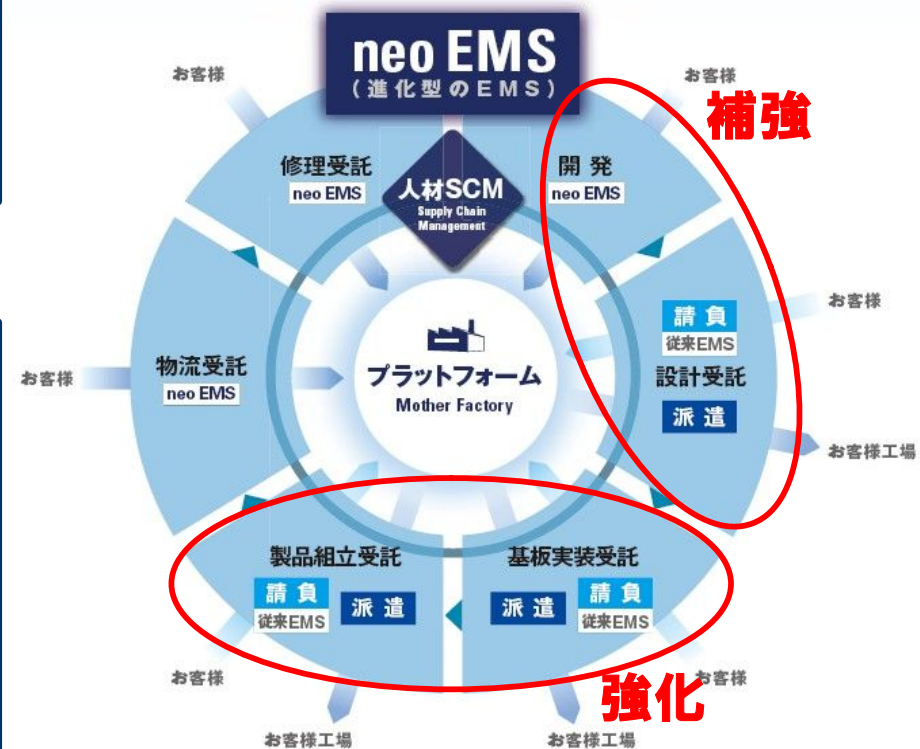
SHIMA
株式会社志摩電子工業

- 基板実装業務を強化
- 海外拠点の獲得(中国・マレーシア)

+

TKR

- 基板実装以外にも
- ・ 高度な開発設計技術力
 - ・ 金型設計／製作
 - ・ プレス加工
 - ・ モールド成形加工
 - ・ ODM/OEM 等
 - 資材調達能力
 - 海外人材教育システム
 - 海外拠点(中国・マレーシア)



当社成長戦略上のメリット

Merit 1

「neo EMS」機能および国内・海外の事業基盤の強化

TKRと経営統合することでneo EMS機能を強化し、メーカーと同等の製造能力でサービス内容の充実を図る

Merit 2

顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

国内のみならず海外拠点(中国、マレーシア)の規模と質的な拡充ができ、国内外においてneoEMSの機能強化とサービス領域の拡大による新規顧客領域の開拓

Merit 3

TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上

グループ共同営業・受注体制の構築、部品調達、生産管理システムの共通化による在庫管理・購買業務の効率化等トータルコスト低減による利益率の改善

Merit 4

人材教育システムの活用により中国労務派遣事業の差別化を図る

北京中基衆合国際技術服务有限公司(中基衆合)でTheUKEOIに向け労務派遣スタッフを多能工化することで差別化を図る

Merit1 : neo EMSの国内・海外の事業基盤を強化

メーカーと同等の製造能力にて、ODM/OEM、リペアサービスにいたるまで
neo EMSの機能強化を実現、トータルサービスを充実

開発・設計から製造にいたるすべてのモノづくりプロセスが補強・強化され、
 新たに追加される機能により一貫生産体制を実現

×機能無 ○既存 ◎強化・補強 ■新規追加分野

		開発・設計		資材調達			製造				物流	リペアサービス
		開発・設計	試作・評価	購買管理	金型製作・保守	部品製造・部品加工 (板金プレス、モールド成形)	基板実装	デバイス・モジュール組立	完成品組立	検査		
国内	nms+志摩	○	○	○	×	×	○	○	○	○		○
	nms+志摩+TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
海外	nms+志摩	×	○	○	×	×	○	×	○	○		○
	nms+志摩TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎

Merit2: 顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

サービスの高度化と充実化で新規顧客を獲得

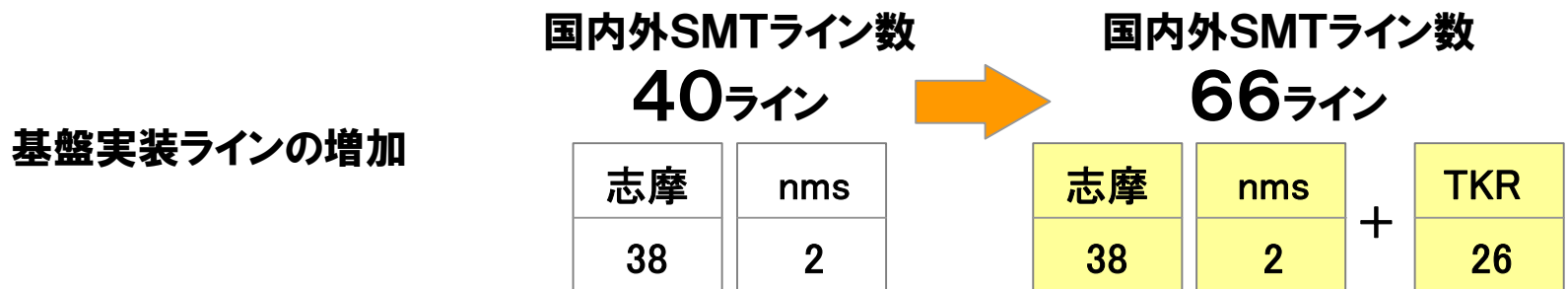
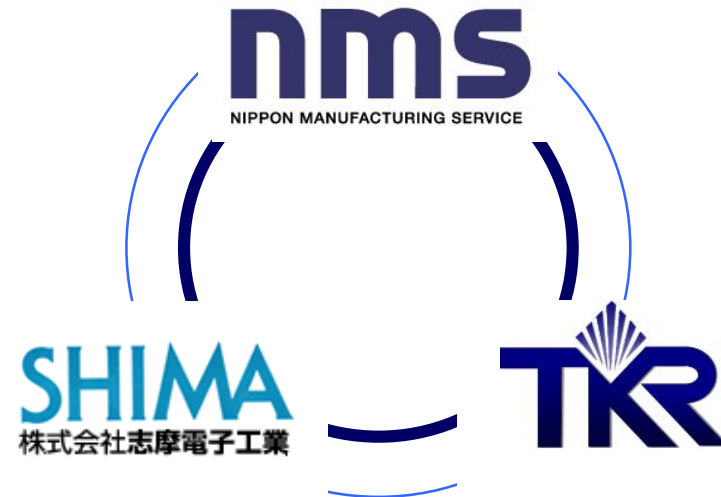
国内外においてneo EMSの機能強化を実現し、設計開発、製造、修理に至るまで人材ビジネスの起動性を兼ね備えたワンストップサービスを提供

人材ビジネスの機動性

モノづくり力

メーカーに匹敵するモノづくり力

高度な開発設計技術力、
基板実装を含めたモジュール組立、
ODM/OEM等幅広いモノづくりサービス領域

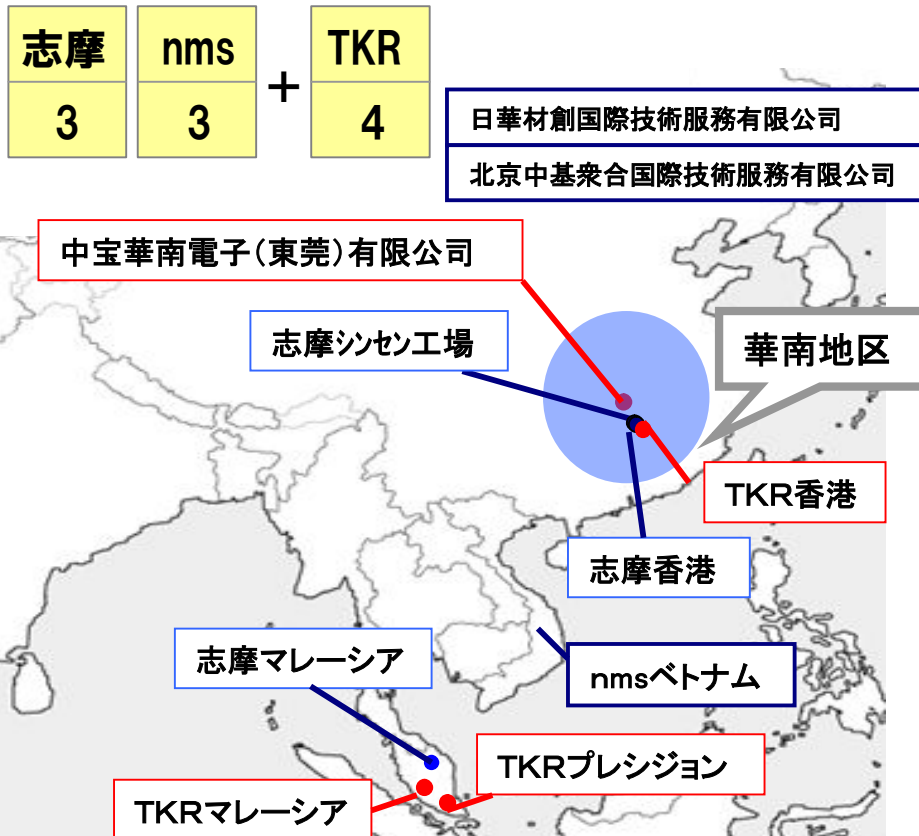


Merit2: 顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

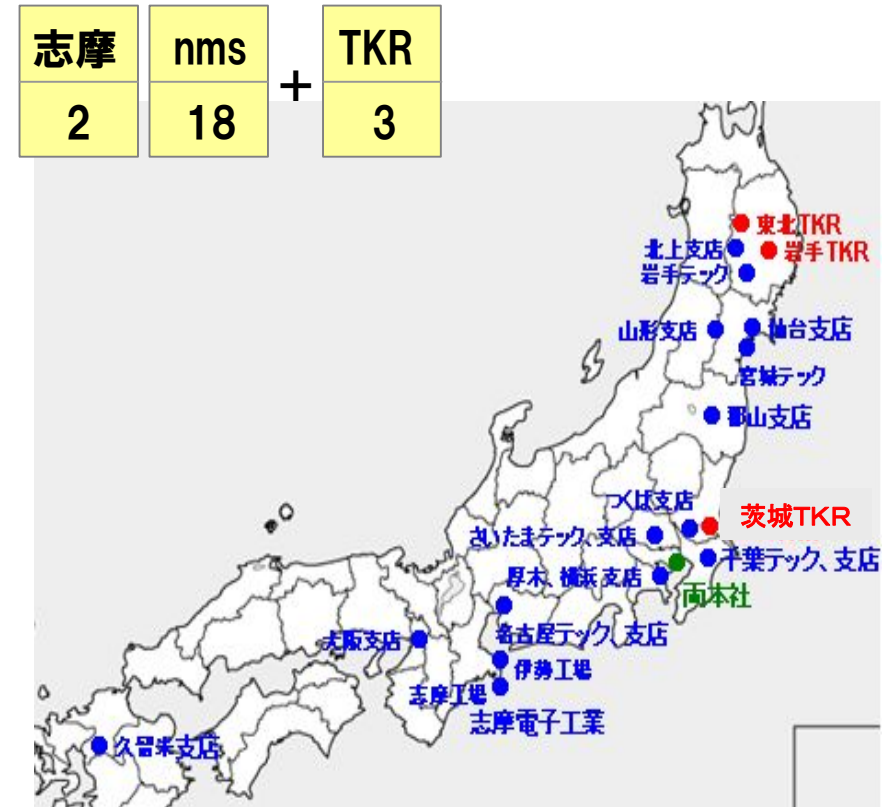
サービス領域の拡大による事業機会の拡大

国内拠点、海外拠点(中国、マレーシア)の規模と質的な拡充

海外 (10拠点)



国内 (23拠点)



Merit3: (株)TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上



開発・設計業務から、部品製造・加工やモジュール組立を含めたメーカーと同等の製造力でサービス内容を充実し、グループ共同営業体制を強化拡充

TKRが独自開発したMRPを含むグローバルな調達システム、生産管理システムを共有化することによる在庫管理・購買業務の効率化等でトータルコストの低減、利益率の向上

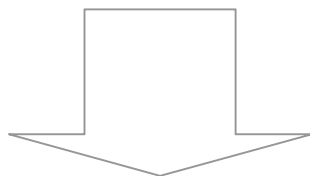
MRP: material requirement planning

Merit4: 人材教育システムの活用により中国労務派遣事業の差別化を図る

中国における日系メーカーからの受注に繋げる 中国現地労務派遣企業との差別化を図る



モノづくり現場で培ったノウハウを基に
人材教育システムを構築



北京中基衆合国際技術服務有限公司
(中基衆合)
労務派遣スタッフ人材の教育に活用、
多能工化し、付加価値の高い人材を育成





本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社

コーポレート本部 広報IRグループ

Tel:03-5333-1711

E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp

